

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015204 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2019年工事用重機・車両の管理・運用委託								
	発生場所	重機ヤード					2019/5/29	2019/5/29	2019/5/29	
	作業主管G	保全計画グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/5/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物その他(バッテリー)	B	10	D	B	2 m ³	0.004 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0029
				2019/5/29
調整後保管日時		2019年6月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(バッテリー) ⑥	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/18 10:10	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0157

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F1~4号機 既設多核種除去設備 共沈タンク(A/C)取替および同関連除却									
	発生場所	既設MRRS					2019/6/4	2019/6/4	2019/6/4		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/5/16		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	FI-ICW-349F1-ICWBL-79	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃物(紙類)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
	2	可燃物(プラスチック類)	A	02	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
3	不燃物(機器類)	B	03	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無		
4	難燃物(ゴム類)	C	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無		
5	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無		
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0079
				2019/6/4
調整後保管日時		2019年6月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00335)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/17 8:05	6 m ³		FU-00335	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載 上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0157

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F1~4号機 既設多核種除去設備 共沈タンク(A/C)取替および同関連除却								
	発生場所	既設MRRS						2019/6/4	2019/6/4	2019/6/4
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/5/16	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	FI-ICW-348FI-ICWBL-79	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	可燃物(紙類)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.12 mSv/h	無
	2	可燃物(プラスチック類)	A	02	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.12 mSv/h	無
	3	不燃物(機器類)	B	03	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.12 mSv/h	無
	4	難燃物(ゴム類)	C	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.12 mSv/h	無
5	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.12 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0080
				2019/6/4
調整後保管日時		2019年6月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00336)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/6/17 9:00	6 m ³		FU-00336	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。--注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア				2019/6/5	2019/6/5	2019/6/5			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	15 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
大型ダンプ3台											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0087
				2019/6/5
調整後保管日時		2019年6月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/6/19 9:05	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/6/19 9:45	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/6/19 10:25	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業・件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G3タンクエリア					2019/6/5	2019/6/5	2019/6/5		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-140		
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	ゴムマット	C	01	D	B	1 m ²	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	06	—	0092
				2019/6/6
調整後保管日時		2019年6月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴムマット	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/19 9:40	0.3 m ²		FU-00285	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=50 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=50 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月20日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンクリリース関連工事							
	発生場所	G3タンクエリア			2019/6/5	2019/6/5	2019/6/5		
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-140		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	足場材	B 01	D B	1.5 m ²	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0093
				2019/6/6
調整後保管日時		2019年6月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	足場材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/20 9:40	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月21日	(金)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G3タンクエリア			2019/6/5	2019/6/5	2019/6/5				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/6/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	足場材	B	01	D	B	0.5 m ²	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 β 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0094
				2019/6/6
調整後保管日時		2019年6月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	足場材	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/21 9:50	0.1 m ²		FU-00180	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 μ Sv/h											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去								
	発生場所	免震棟						2019/6/5	2019/6/5	
	作業主管G	通信システムグループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/6/4	測定者			測定器名	PS	管理番号	F1-PS-203	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③					β + γ 線量率	
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	0.5 m ²	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無
	2	ケーブル類	B	08	D	A	0.5 m ²	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無
3	難燃物その他	C	04	D	A	0.3 m ²	1.1 μSv/h	2 μSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0095
				2019/6/6
調整後保管日時		2019年6月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICWBL	F1-ICWBL-126	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/19 10:30	1 m ²			1
	2	1	ケーブル類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/19 10:30	0.1 m ²			1
	3	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/19 11:00	0.1 m ²			2
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③						
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注:4tユニック車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0136
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/6/17 8:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013803 - 0028

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③						
	1	不燃物(コンクリートガラ)	B	02	D	B	4 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2	不燃物(塩ビ類)	B	05	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注:4tユニック車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0138
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃物(コンクリートガラ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/17 9:35	3 m ²			1	
2	1	不燃物(塩ビ類) (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/17 9:15	1 m ²			2	
								m ²				
								m ²				
								m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-KWBL-87
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物(切削くず)	B	13	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注:4tユニック車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0139
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-KWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(切削くず)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアW1	2019/6/17 10:40	3 m ³		FU-00286	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 μ Sv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月17日	(月)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア			2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-87				
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物(切削くず)	B	13	D	B	3 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	不燃物(防災シート)	B	10	D	B	2 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
注:4tユニック車にて持参します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0140
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(切削くず)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアW1	2019/6/17 11:00	2 m ³		FU-00286	1
	2	1	不燃物(防災シート) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/17 11:00	1 m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

No.1の保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)								
	発生場所	3号機 Rw/B 中操					2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有 0.2 mSv/h	
5						m ²				
固体廃棄物管理G殿打合せ済 P2保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0142
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアP2	2019/6/19 8:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0024

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-2号機 タービン建屋内他滞留残水排水設備設置								
	発生場所	1号機 Rw/B 中操				2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/6/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有 0.2 mSv/h	
5						m ³				

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。
 固体廃棄物Gと調整済み。P2エリア運搬。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0143
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	40 μSv/h	エリアP2	2019/6/20 8:50	6 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
No.1の保管物はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0024

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月21日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-2号機 タービン建屋内他滞留残水排水設備設置								
	発生場所	3号機 Rw/B 中操					2019/6/7	2019/6/7	2019/6/7	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h
3	ケーブル類	B	08	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h	
4	不燃物その他	B	10	D	A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有 0.2 mSv/h	
5						m ³				

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。
 固体廃棄物G P2エリア運搬

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0144
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアP2	2019/6/21 9:10	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

No1.の物品はシート養生にて保管。
 No.2,3,4の物品は中止。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日	(水)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	Cエリア濃縮水タンク堆積物回収					
	発生場所	エバポ周辺～C2エリア					
	作業主管G	処理設備グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/5/15	測定者		測定器名	F1-ICW-331	管理番号
						F1-ICWBL-34	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	難燃物その他	C	D	A	2 m ³	0.001 mSv/h
	2					m ³	
	3					m ³	
	4					m ³	
	5					m ³	
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0145
				2019/6/7
調整後保管日時		2019年6月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	800 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/19 9:10	3 m ³		FU-00285	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=50 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=50 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	11:00		承認	審査	作成														
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事																					
	発生場所	1F構内全域						2019/6/10	2019/6/10	2019/6/10													
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員		TEL															
	元請会社					担当者		TEL															
	線量測定年月日	2019/6/6		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-12													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
		①	②	③																			
		1	可燃物その他	A								04	D	A	3	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
		2	可燃物その他	A								04	D	A	0.03	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.15	mSv/h
		3														m ²							
4							m ²																
5							m ²																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0156
				2019/6/10
調整後保管日時		2019年6月17日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-42	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/17 11:00	0.9 m ²			1
	2	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/17 10:00	0.03 m ²		FU-00284	2
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=25 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=25 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0072

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリアタンク受入配管関連								
	発生場所	G6タンクエリア						2019/6/10	2019/6/10	2019/6/7
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者		測定器名	ICW		管理番号	ICW-068	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	保温材	B	06	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	不燃物その他	B	10	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0157
				2019/6/10
調整後保管日時		2019年6月17日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICW	F1-ICW-209	
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/17 8:10	0.3 m ²			1
	2	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/6/17 8:15	0.1 m ²			2
	3	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/6/17 8:15	1 m ²			2
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0063

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月21日	(金)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	処理水ライン保温カバー他設置工事関連									
	発生場所	H2エリア			2019/6/10	2019/6/10	2019/6/10				
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者		測定器名	NaI シンチレーター	管理番号 F1-SC-022				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	保温材	B	06	D	B	5 m ²	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0158
				2019/6/10
調整後保管日時		2019年6月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/6/21 9:05	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不燃物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	②	C	難燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		D	伐採木	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域						2019/6/11	2019/6/11	
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	プラ・ビニール類	A	02	D	A	4 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0159
				2019/6/11
調整後保管日時		2019年6月18日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/18 9:00	2.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域						2019/6/11	2019/6/11	
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	A	3 m ²	0.007 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.025 mSv/h
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0160
				2019/6/11
調整後保管日時		2019年6月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/18 10:00	1.5 m ²		FU-00284	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=35 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=35 μ Sv/h												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事							
	発生場所	1F構内全域					2019/6/11	2019/6/11	2019/6/11
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/6/10		測定者		測定器名	ICWBL		
							管理番号 F1-ICWBL-12		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	
		①	②	③				β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A 01	D A	2 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
メ モ	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
	5				m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0161
				2019/6/11
調整後保管日時		2019年6月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/19 9:30	3.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月17日		(月)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)									
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃・その他(6m3コンテナFU-00059)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.21 mSv/h	β有	2.21 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナFU-00225)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.16 mSv/h
3	不燃・その他(6m3コンテナFU-00228)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.13 mSv/h	
4						m ³					
5						m ³					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0163
				2019/6/11
調整後保管日時		2019年6月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00059)	5 μSv/h	20 μSv/h	20 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/17 9:30	6 m ³		FU-00059	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00225)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/17 9:30	6 m ³		FU-00225	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00228)	5 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/17 9:30	6 m ³		FU-00228	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		D	伐 採 木								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事									
	発生場所	1/2号機新SB建屋(GI-22)						2019/6/11	2019/6/11	2019/6/11	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/5		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃・その他(6m3コンテナFU-00215)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナFU-00217)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.18 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナFU-00223)	B	10	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.23 mSv/h
	4						m ³				
	5						m ³				
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	06	—	0164
				2019/6/11
調整後保管日時		2019年6月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00215)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/18 9:00	6 m ³		FU-00215	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00217)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/18 9:00	6 m ³		FU-00217	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00223)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/18 9:00	6 m ³		FU-00223	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日	(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
	発生場所	タンクヤード			2019/6/11	2019/6/11	2019/6/11		
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-123		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ドラム缶	B 01	D A	0.3 m ³	0.003 mSv/h	0.025 mSv/h	β 有	0.075 mSv/h
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
	5				m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0170
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ドラム缶	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/18 10:20	0.1 m ³		FU-00317	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=600 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=600 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0035

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	5W RW中操空調機点検手入工事(H31)									
	発生場所	5Rw/B 1F 中操室					2019/6/11	2019/6/11	2019/6/11		
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/7	測定者		測定器名	TCS-172	管理番号	F1-SC121			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類(キムタオル)	A	01	W	B	0.01 m ²	0.15 μ Sv/h	0.35 μ Sv/h	無	
	2	不燃その他(フィルター)	B	10	D	B	0.3 m ²	0.15 μ Sv/h	0.15 μ Sv/h	無	
	3	金属ガラ	B	01	D	A	0.01 m ²	0.15 μ Sv/h	0.15 μ Sv/h	無	
	4	塩化ビニール類(ホース)	B	05	D	B	0.01 m ²	0.15 μ Sv/h	0.15 μ Sv/h	無	
	5	ゴム類(Vベルト)	C	01	D	A	0.01 m ²	0.15 μ Sv/h	0.15 μ Sv/h	無	
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	06	—	0171	2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月18日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-126	
3		ICW	F1-ICW-209	
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類(キムタオル)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 10:30	0.01 m ²			1
	2	1	不燃その他(フィルター) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 9:40	0.01 m ²			3
	3	1	金属ガラ ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 9:40	0.01 m ²			3
	4	1	塩化ビニール類(ホース)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 10:30	0.01 m ²			2
	5	1	ゴム類(Vベルト)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 10:30	0.01 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③	④								
	6	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.01	m ²	0.15	μ Sv/h	0.35	μ Sv/h	無	
	7							m ²						
	8							m ²						
	9							m ²						
	10							m ²						

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	06	—	0171

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアB	2019/6/18 10:30	0.01	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0071

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 干渉物撤去工事(地上階)									
	発生場所	4号機タービン建屋他					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/6/11	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ(2019FU-00194)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	10 mSv/h
	2	金属ガラ(2019FU-00197)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	10 mSv/h
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
	No. 1,2.は借用6m3コンテナにて廃棄、本管理表でコンテナ2台分の申請とする。外面 No1-0.02mSv/h No2-0.03mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0172
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00194)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/19 9:00	6 m ³		FU-00194	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00197)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/19 9:00	6 m ³		FU-00197	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/11	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-12	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A	04	D	A	2 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0174
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/19 11:00	3 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/19 11:00	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事								
	発生場所	1F構内全域				2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12		
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/6/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-12	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	プラ・ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0175
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/20 9:00	2.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事									
	発生場所	1F構内全域						2019/6/12	2019/6/12		
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/6/11		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	プラ・ビニール類	A	02	D	A	1 m ²	0.008 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2	可燃物その他	A	04	D	A	0.3 m ²	0.008 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
	3	不燃物その他	B	10	D	A	0.2 m ²	0.008 mSv/h	0.038 mSv/h	β 有	0.6 mSv/h
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0176
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月20日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラ・ビニール類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/20 10:00	0.5 m ²		FU-00285	1
	2	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/20 10:00	0.5 m ²		FU-00285	1
	3	1	不燃物その他	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h	エリアW1	2019/6/20 10:00	0.1 m ²		FU-00317	1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	FU-00285表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=50 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=50 μ Sv/h FU-00317表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=600 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=600 μ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0050

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク設置工事								
	発生場所	Bエリア					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	ICW-080		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
1	鋼材「吊り上げ用天秤」	B	10	D	B	6 m ²	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※Cヤード クレーンを持込み積み下ろしを実施します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0177
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材「吊り上げ用天秤」①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 8:20	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0180
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月20日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/20 8:15	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0181
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/20 8:45	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0182
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/20 9:10	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月21日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0183
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/21 8:10	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月21日		(金)	9:00		承認	審査	作成
	作業件名	土捨場北側土地造成工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/6/12	2019/6/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/6/3	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0184
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/6/21 8:40	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0011

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場駐車場整備工事							
	発生場所	物揚場 GI-21					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G	線量測定年月日	2019/6/10	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
記入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	1 m ²	0.012 mSv/h	0.012 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0185
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/6/18 8:40	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木						
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0011

作 業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	第二土捨場駐車場整備工事									
	発生場所	物揚場 GI-21					2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	D4	D	B	3 m ²	0.012 mSv/h	0.012 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0186
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 8:20	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日	(水)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	第二土捨場駐車場整備工事					
	発生場所	物揚場 GI-21			2019/6/12	2019/6/12	2019/6/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/6/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
	1	金属トガラ	B 01	D A	4 m ³	0.012 mSv/h	0.012 mSv/h 無
	2	ケーブル類	B 08	D A	1 m ³	0.012 mSv/h	0.012 mSv/h 無
	3				m ³		
	4				m ³		
	5				m ³		
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0187
				2019/6/12
調整後保管日時		2019年6月19日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属トガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/19 8:30	1 m ³			1
	2	1	ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/19 8:30	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」; B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-2号機・3号機タービン建屋大物搬入口シャッター設置工事								
	発生場所	2号機・3号機タービン建屋(GJ-23東~GJ24東)					2019/6/13	2019/6/13	2019/6/13	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス	A	01	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0191
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/18 10:00	0.7 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/18 10:00	1.4 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/18 10:00	0.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-2号機・3号機タービン建屋大物搬入口シャッター設置工事										
	発生場所	2号機・3号機タービン建屋(GJ-23東~GJ24東)					2019/6/13	2019/6/13	2019/6/13			
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員	TEL						
	元請会社				担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
		①	②	③								
	1	紙・ウエス	A	01	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	4						m ²					
	5						m ²					
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0192
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/19 10:00	0.1 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/19 10:00	0.7 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	8 μSv/h		エリアB	2019/6/19 10:00	1.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0005

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月20日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-2号機・3号機タービン建屋大物搬入口シャッター設置工事								
	発生場所	2号機、3号機タービン建屋(GJ-23東~GJ24東)				2019/6/13	2019/6/13	2019/6/13		
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材類	A	03	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0193
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアB	2019/6/20 10:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(ばつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	5G 双葉線引留鉄構除却工事								
	発生場所	双葉線No.1鉄塔敷地内					2019/6/13	2019/6/12	2019/6/12	
	作業主管G	電気機器グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ケーブル屑	B	08	D	B	4 m ²	0.008 mSv/h	0.016 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0194
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/19 9:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	燃料設備点検手入工事(H31)						
	発生場所	共用プール3FL					2019/6/13	2019/6/13
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/6/13	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	下記メモ参照
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物(紙類)	A 01	D B	0.02 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物(その他)	A 04	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	難燃物(シート類)	C 02	D B	0.14 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	不燃物(金属ガラ)	B 01	D B	0.02 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	5	不燃物(バッテリー)	B 10	D A	0.04 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ◎使用測定器管理番号: F1-ICW-141、F1-ICWBL-30							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0201
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年6月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICW	F1-ICW-209
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙類)	2 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/6/18 8:00	0.03 m ²			1
	2	1	可燃物(その他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 8:00	0.1 m ²			1
	3	1	難燃物(シート類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/6/18 8:00	0.1 m ²			1
	4	1	不燃物(金属ガラ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 8:05	0.02 m ²			2
	5	1	不燃物(バッテリー) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 8:05	0.04 m ²			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他
					01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —

A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月18日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	バッファタンク取替関連除却工事										
	発生場所	高台バッファタンクエリア						2019/6/13	2019/6/12	2019/6/12		
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員						
	元請会社					担当者						
	線量測定年月日	2019/6/12		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICW-BL-98	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	保温材			B	06	D	A	2 m ²	0.45 mSv/h	0.45 mSv/h	無
	2	板金・金属ガラ			B	01	D	A	2 m ²	0.45 mSv/h	0.45 mSv/h	無
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	06	—	0202
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 10:25	4 m ²			1
	2	1	板金・金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/6/18 10:25	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月21日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	パツファタンク取替関連除却工事									
	発生場所	高台パツファタンクエリア						2019/6/13	2019/6/13		
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICW-BL-98			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	保温材	B	06	D	A	15 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.045 mSv/h
	2	PE配管	C	04	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.045 mSv/h
	3	板金・金属ガラ	B	01	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.045 mSv/h
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0203
				2019/6/13
調整後保管日時		2019年6月21日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/6/21 10:00	1 m ²		FU-00317	1
	1	2	保温材	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/6/21 10:00	5 m ²		FU-00180	1
	2	1	PE配管	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/6/21 10:00	1.5 m ²		FU-00284	1
	3	1	板金・金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/6/21 10:00	1 m ²		FU-00317	1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ BG=7 μSv/h, FU-00317: γ=600 μSv/h, β+γ=600 μSv/h, FU-00180: γ=7 μSv/h, β+γ=7 μSv/h
FU-00284: γ=35 μSv/h, β+γ=35 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウイス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012502 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年6月21日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1-4号当直関連業務								
	発生場所	1~4号機周辺						2019/6/14	2019/6/14	
	作業主管G	運営設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社	1~4号当直				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	GM管式サーベイメータ	管理番号	F1-GMAD-243		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	①	②	③							
1	紙、ウエス類	A	01	D	A	0.02 m ²	0.09 mSv/h	0.21 mSv/h	無	
2	草	A	04	D	A	0.02 m ²	0.09 mSv/h	0.21 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0204
				2019/6/14
調整後保管日時		2019年6月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙、ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/21 9:30	0.1 m ²			1
	2	1	草	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアB	2019/6/21 9:30	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年6月19日		(水)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	Eタンクエリア					2019/6/14	2019/6/14	2019/6/14
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/6/11	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	連結弁(2018FU00142)	B 01	W A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	30 mSv/h
	2	連結弁(2018FU00120)	B 01	W A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	30 mSv/h
	3	PE管(2018FU00232)	B 10	W A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	30 mSv/h
	4				m ³				
	5				m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。No. 1,2,3は借用6m3コンテナにて廃棄、本管理表でコンテナ3台分の申請とする。 外面 No1=0.02mSv/h No2=0.01mSv/h No3=0.05mSv/h								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0205
				2019/6/14
調整後保管日時		2019年6月19日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年6月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00142)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/19 8:00	6 m ³		FU-00142	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00120)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/19 8:00	6 m ³		FU-00120	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00232)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/6/19 8:00	6 m ³		FU-00232	1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年6月21日	(金)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	建物適法化に伴う建物修理工事									
	発生場所	1F構内全域			2019/6/14	2019/6/14	2019/6/14				
	作業主管G	建築保全・総括グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/6/12	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の 有無				
	1	プラ・ビニール類	A	02	D	A	2 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	3 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GM-16 現場連絡者:											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	06	—	0206
				2019/6/14
調整後保管日時		2019年6月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2019年6月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/21 9:20	2 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/6/21 9:20	0.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。